

経済の動き*

【全体感】

東北地域の景気は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、減少している。設備投資は、増加している。個人消費は、持ち直している。住宅投資は、持ち直しの動きが鈍化している。この間、生産は、総じてみれば持ち直し基調にある。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

【各論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、震災復興関連工事の一巡などから、減少している。

設備投資は、増加している。

6月短観（東北地区）における2022年度の設備投資をみると、一部に案件一巡から減少計画となっている先がみられるが、製造業を中心に、旺盛な需要を背景とした能力増強投資や老朽化対応投資などがみられることから、全体では増加する計画となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などが和らぐ中、持ち直している。

主要小売業販売額をみると、ドラッグストアは、新規出店が続く中、増加している。スーパーは、底堅く推移している。百貨店やコンビニエンスストアは、来店客数の増加に伴い、持ち直している。乗用車の新車登録台数は、供給制約の影響から、減少している。ホームセンターと家電大型専門店の販売額は、家電の買い替え需要の一巡などから、減少している。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に持ち直している。

住宅投資は、持ち直しの動きが鈍化している。

住宅着工戸数をみると、貸家は持ち直しているが、持家は弱めの動きとなっているほか、分譲は持ち直しの動きが鈍化している。

* 直近の金融経済統計および企業ヒアリングをもとに、東北地区6県（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島）の金融経済情勢を取り纏め。

▼日本銀行仙台支店HPへのアクセス

当店HPでは「経済の動き」を始め、東北経済に関する様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



2. 生産

生産（鉱工業生産）は、供給制約の影響を受けつつも、総じてみれば持ち直し基調にある。

主要業種別にみると、輸送機械は、供給制約の影響を受けつつも、生産水準が幾分上昇している。生産用機械等は、振れはあるものの、半導体関連を中心に増加傾向にある。電子部品・デバイスは、高水準にある。この間、食料品は、低調な動きが続いている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境は、改善している。

労働需給は、求人が緩やかに増加しており、持ち直している。この間、雇用者所得は、業種ごとのばらつきを伴いながらも増加している。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格の上昇を主因に前年を上回っている。

5. 企業倒産

企業倒産は、前年と比べて幾分増加している。

6. 金融情勢

預金動向をみると、個人を中心に全体では前年を上回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は、緩やかながらも低下している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行仙台支店営業課 TEL：022-214-3120
